

2025年3月期 決算説明資料

2025年5月29日

Abalance株式会社
(東証スタンダード 3856)

- **2025年3月期決算（実績）：予想比増収減益**

- ・インドや台湾向け販売が下支えも、新工場立上げ費用等が利益を圧迫

- **2026年3月期決算（予想）：売上高950億円、営業利益率6.3%**

- ・米国パネル工場、エチオピアセル工場稼働開始。3エリア供給体制確立

- **セグメント別事業戦略**

- ・太陽光パネル製造事業：VSUNネットワーク活用、米国内需獲得図る

- ・グリーンエネルギー事業：フロー＆ストックに加えて、系統蓄電池事業の取組み強化

- **2023年グループビジョンの実現に向けて**

- ・Abalanceグループビジョン：「再生可能エネルギーの中核的グローバル企業」

主なIRニュース

- 2024年7月 太陽光セル製造事業を展開する連結子会社TOYOが米国ナスダックに新規上場
- 2024年8月 市場環境等を考慮し、今期業績予想を見直すと共に中期経営計画（2024-26）の数値目標を取り下げ
- 2024年10月 エチオピアでの太陽光セル新工場建設を公表（2025年4月稼働）
- 2024年11月 米国での太陽光パネル新工場建設（M&A）を公表（2025年年央稼働予定）
- 2024年12月 当社及び当社子会社7社に対する訴訟の提起を公表
（現在は当社を除く当社子会社8社が対象）
- 2025年2月 決算期を6月から3月へ変更することを前提に通期業績予想を修正
（決算期変更は臨時株主総会で承認済み）
- 2025年3月 エチオピアでの太陽光セル新工場建設第2フェーズを公表
（2025年第2四半期中を目途に稼働予定）

損益計算書（9か月）

- 25/3期 連結売上高724億円、営業利益36億円。対予想比21%増収、同29%営業減益
- 売上高は太陽光市場の成長が続くインドや台湾向けの新規販売がけん引
- 営業減益はベトナムセル工場の棚卸資産評価損（売上原価）、新工場関連費用（販売費）などによるコストアップ

(単位：億円)	24/6期 (12か月)	25/3期 (9か月)	25/3期 (9か月)	増減（対予想比）		24/6期 3Q累計 (9か月)	増減（対前3Q累計比）	
	通期実績	通期予想	通期実績	額	率	3Q累計	額	率
売上高	2,090	600	724	124	+21%	1,556	△ 832	△54%
営業利益	233	51	36	△ 15	△29%	140	△ 104	△74%
営業利益率	11.2%	8.5%	5.0%	—	△3.5pt	9.0%	—	△4.0pt
経常利益	249	51	37	△ 14	△27%	145	△ 107	△74%
経常利益率	11.9%	8.5%	5.2%	—	△3.3pt	9.3%	—	△4.1pt
親会社株主に帰属する 当期純利益	95	10	9.5	△ 0.5	△5%	55	△ 45	△83%
純利益率	4.6%	1.7%	1.3%	—	△0.4pt	3.5%	—	△2.2pt

※「その他」には、IT事業、光触媒事業、建機販売事業などを含みます。なお、IT事業および光触媒事業は、24/6期には報告セグメントとして計上していましたが、25/3期より報告セグメントから除外されたため、24/6期については「その他」に含めて表示しています。

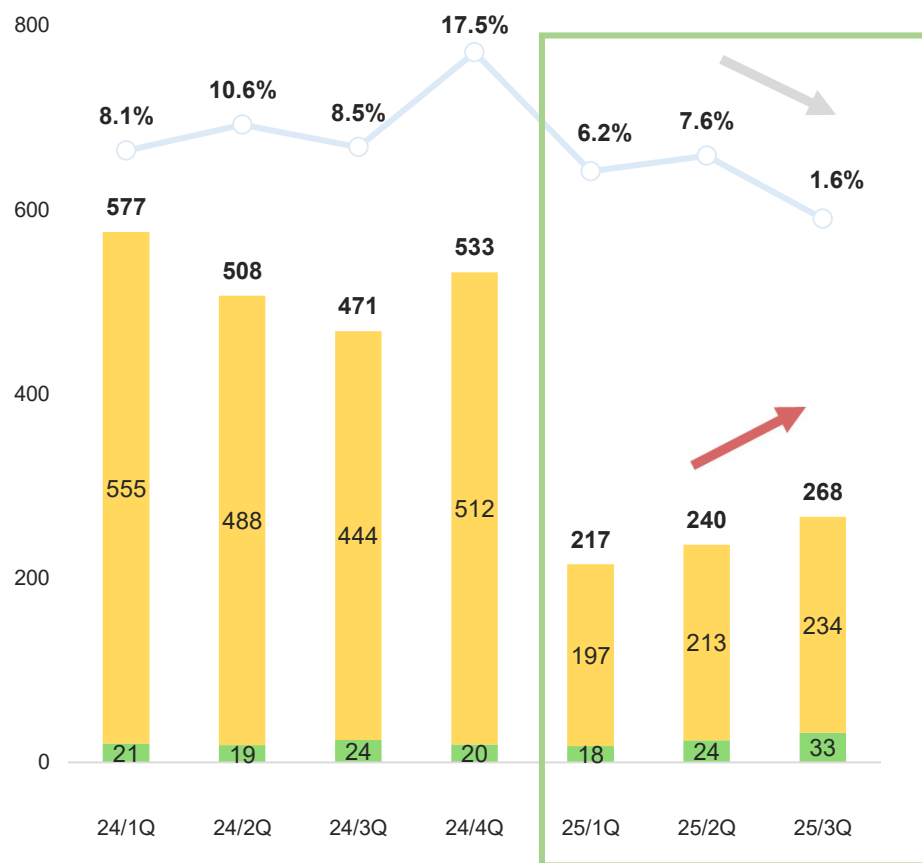
売上高、セグメント利益の推移（四半期/2期間）

四半期推移

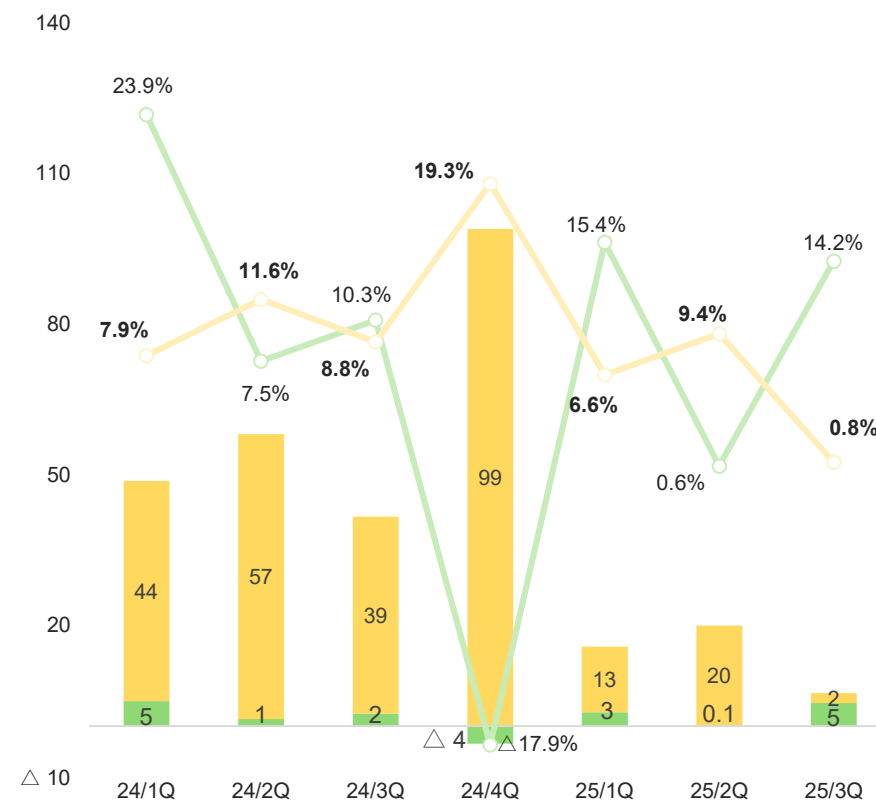
（単位：億円）

■ 太陽光パネル製造事業
■ グリーンエネルギー事業

連結売上高・営業利益率



セグメント利益・率



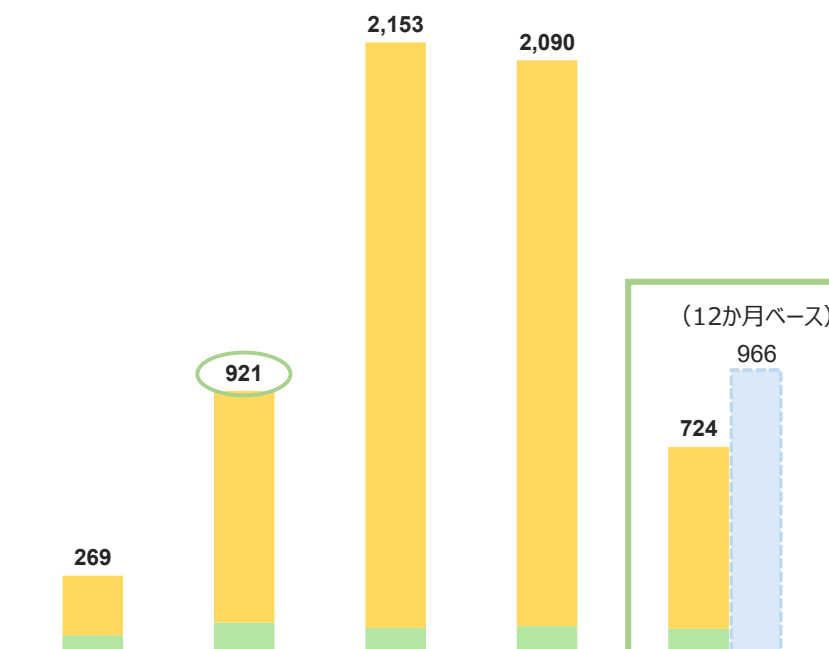
※連結売上高合計には、「その他、調整」も含まれています。

売上高、営業利益の推移（通期/5期間）

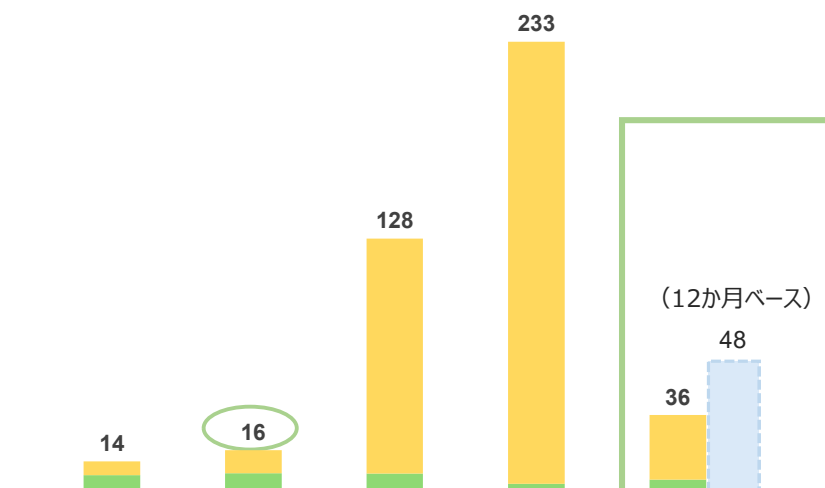
通期推移

（単位：億円）

21/6期2QからVSUNを新規連結化、太陽光パネル製造事業を中核に企業成長を実現



	21/6期	22/6期	23/6期	24/6期	25/3期(9か月)
連結売上高	269	921	2,153	2,090	724
太陽光パネル製造事業	210	818	2,068	1,999	643
グリーンエネルギー事業	53	99	80	83	74
その他、調整	6	4	5	8	6



	21/6期	22/6期	23/6期	24/6期	25/3期(9か月)
連結営業利益	14	16	128	233	36
太陽光パネル製造事業	7	12	127	239	35
グリーンエネルギー事業	10	11	11	5	8
その他、調整	△ 4	△ 7	△ 10	△ 11	△ 6

2025年3月期セグメント別決算概要

太陽光パネル製造事業

- 米国市場における輸出販売の低迷を主因とした大幅な減収減益
- 同事業は売上高の約9割、セグメント利益の約8割を占め、連結業績インパクト大

(単位：億円)	24/6期 (12か月)	25/3期 (9か月)	25/3期 (9か月)	増減（対予想比）		24/6期 3Q累計 (9か月)	増減（対前3Q累計比）	
	通期実績	通期予想	通期実績	額	率	3Q累計	額	率
売上高	1,999	540	643	+103	+19%	1,487	△843	△57%
セグメント利益	239	—	35	—	—	140	△105	△75%
セグメント利益率	11.9%	—	5.4%	—	—	9.4%	—	△4.0pt

グリーンエネルギー事業

- スtock型ビジネス（太陽光発電所の自社保有）及びフロー型ビジネス（発電所、部材の販売等）の双方が堅調に推移
- 新規事業の大手量販店チャネルを活用した住宅用太陽光発電システム販売も、収益獲得に貢献

(単位：億円)	24/6期 (12か月)	25/3期 (9か月)	25/3期 (9か月)	増減（対予想比）		24/6期 3Q累計 (9か月)	増減（対前3Q累計比）	
	通期実績	通期予想	通期実績	額	率	3Q累計	額	率
売上高	83	60	74	+14	+24%	64	11	+17%
セグメント利益	5	—	8	—	—	9	△1	△15%
セグメント利益率	6.4%	—	10.1%	—	—	13.9%	—	△3.8pt

損益計算書（12か月）

- **26/3期 連結売上高950億円、営業利益60億円。営業利益率6.3%（前期比1ptアップ）**
- 米国・エチオピア・ベトナムの3エリアによる供給体制を構築。経営資源を集中投下し太陽光市場で収益性の高い米国、成長性の高いアジアへの開拓を加速し、収益の再成長を実現する一年
- 2025年世界の太陽光市場は前年比10%成長（※）も、米国の関税を含む通商政策等の影響で世界経済の不確実性は高まる

(25/3期が9か月決算のため、前期比は省略) (単位：億円)	24/6期 (12か月)	25/3期 (9か月)	26/3期 (12か月)
	通期実績	通期実績	通期予想
売上高	2,090	724	950
太陽光パネル製造事業	1,999	643	850
グリーンエネルギー事業	83	74	100
その他、調整	8	6	「その他、調整」含む
営業利益	233	36	60
営業利益率	11.2%	5.0%	➡ 6.3%
経常利益	249	37	60
経常利益率	11.9%	5.2%	➡ 6.3%
株主に帰属する当期純利益	95	9.5	※※ 30
純利益率	4.6%	1.3%	➡ 3.2%

※SPE「Global Market Outlook for Solar Power 2025-2029」 中間シナリオ（2025年5月6日公表）

※※26/3期：TOYOの利益増効果（少数株主分配減）は前期比で拡大

太陽光パネル製造事業 ①

生産・調達戦略：3エリア体制によるサプライチェーン強靱化と競争力強化

	24/6期 (12か月)	25/3期 (9か月)	26/3期 (12か月)
(単位：億円)	通期実績	通期実績	通期予想
売上高	1,999	643	850
セグメント利益	239	35	55
セグメント利益率	11.9%	5.4%	6.5%

ベトナム：TOYO（セル2GW）、VSUN（インゴット・ウエハ4GW、パネル4GW）



2025年4月
エチオピア・セル工場稼働



会社名	TOYO SOLAR MANUFACTURING ONE MEMBER PLC
所在地	エチオピア シダマ州アワサ市
事業内容	太陽光セル製造及び販売
投資金額	約160億円予定（第1フェーズ・約90億円、第2フェーズ・約70億円） ※主に製造設備等に充当、土地・建屋はリース契約
生産能力 (スケジュール)	第1フェーズ2.0GW（2025年4月稼働） 第2フェーズ2.0GW（当社2025年第2四半期中を目途に稼働予定）

2025年年央予定
米国・パネル工場稼働



会社名	TOYO Solar Texas LLC
所在地	米国 テキサス州ヒューストン市
事業内容	太陽光パネル製造及び販売
投資金額	約135億円予定（第1フェーズ・約45億円、第2フェーズ・約90億円） ※主に製造設備等に充当、土地・建屋はリース契約
生産能力 (スケジュール)	第1フェーズ1.0GW（2025年 年央稼働予定） 第2フェーズ1.5GW（2025年 年末稼働予定）

太陽光パネル製造事業 ②

マーケティング・販売戦略：TOYOは米国市場でVSUNブランドを活用、VSUNは販売エリアの多角化を推進



テキサス新工場を好機に、VSUNの販売網を活用し米国内需を獲得



インド含むアジア・欧州での顧客獲得と販売先多角化を加速

〈VSUNの米国での事業展開〉

米国内の顧客ロケーション



- 8 GWの太陽光パネル設置（累計）
- 6百万世帯への電力供給（年間）
- 19百万トンの二酸化炭素排出削減（累計）

出所：TOYO「2025年4月開催機関投資家向け説明会資料」

〈VSUNの世界での事業展開〉

国別の顧客ロケーション



出所：VSUN「2024年会社説明パンフレット」

グリーンエネルギー事業 ①

事業戦略：グリーンエネルギー事業の総合化と収益の質的向上に向けた取り組みの一年

収益面では、大手量販店向け住宅用太陽光発電システム販売が好調を持続、フロー型ビジネスの売上高構成比上昇を想定

(セグメント予想は非開示)

	24/6期 (12か月)	25/3期 (9か月)
(単位：億円)	通期実績	通期実績
売上高	83	74
セグメント利益	5	8
セグメント利益率	6.4%	10.1%

フロー型ビジネスによるスポット収益創出（セールス）

- 大手小売量販店チャネルを活用した住宅用太陽光発電システム販売が、前期からの好調を持続
ーノウハウを活用した販売店向け支援サービス「催事・アライアンスサポート」開始

ストック型ビジネスによる安定収益の創出（発電事業者&O&M）

- 太陽光発電所の開発・保有による売電収入、保有資産の収益性評価の精緻化
ー機動的な太陽光発電所ポートフォリオの見直し
- 事業提携及びM&Aによる事業基盤の拡大

新規ビジネスの具現化、深耕（系統蓄電池、リユース）

- **系統蓄電池事業（ストック型ビジネス）**
ー北海道プロジェクト2件（石狩・札幌）始動、来期以降の収益化を見込む
ー次なる系統蓄電所開発案件の発掘に注力
- **太陽光パネルリユース事業はパートナー連携による提案営業推進（フロー型ビジネス）**
ーリユース枚数（累計）61万枚・172MW リユース国内大手の一角
ー2050年同市場規模はリサイクルを含め推定0.11兆円（出所：JPEA）

自社保有

太陽光発電所：国内外93か所、発電量100MG超

（2025年3月末時点）



自社保有発電所
スマイル小平太陽光発電所（宮城県）
年間発電規模約2.4MW

グリーンエネルギー事業 ②

新規ビジネス（系統蓄電池事業）：WWB含む9社、札幌市内で系統蓄電所を着工（2025年3月）

詳細：2025年3月27日付当社ニュースリリース
https://www.abalance.jp/resource/pdf/Notice_20250327-1.pdf



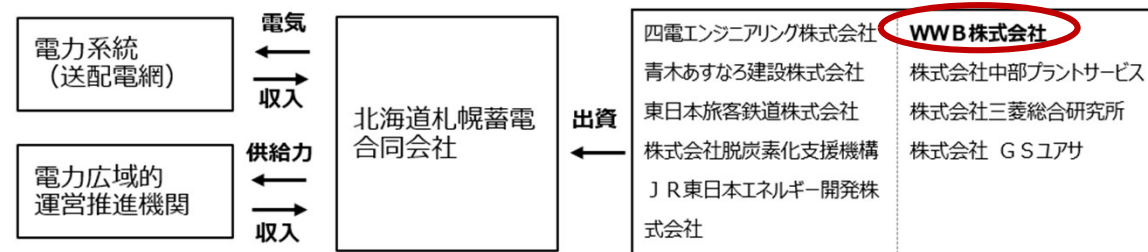
電力連系枠確保、電力協議、
用地取得に係る地域対応及び行政対応

2027年4月（予定）
蓄電所運転開始

会社名	北海道札幌蓄電合同会社
所在地	香川県 高松市
代表社員	四電エンジニアリング株式会社
事業内容	蓄電所の建設・運営 蓄電所を電力系統に接続し余剰電力を充電・需要期に売電して収益を得る
蓄電所概要	北海道札幌蓄電所（北海道札幌市） 出力：10MW、蓄電池容量：30MWh 2027年4月運転予定

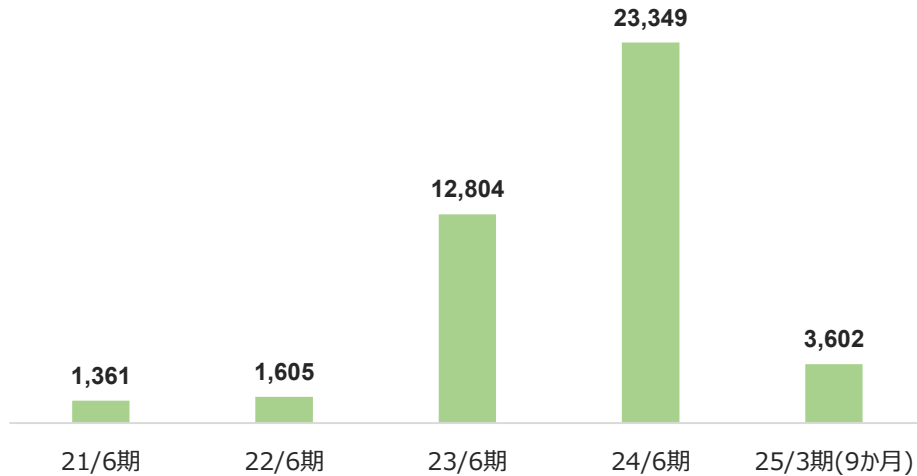


〈事業・投資スキーム図〉

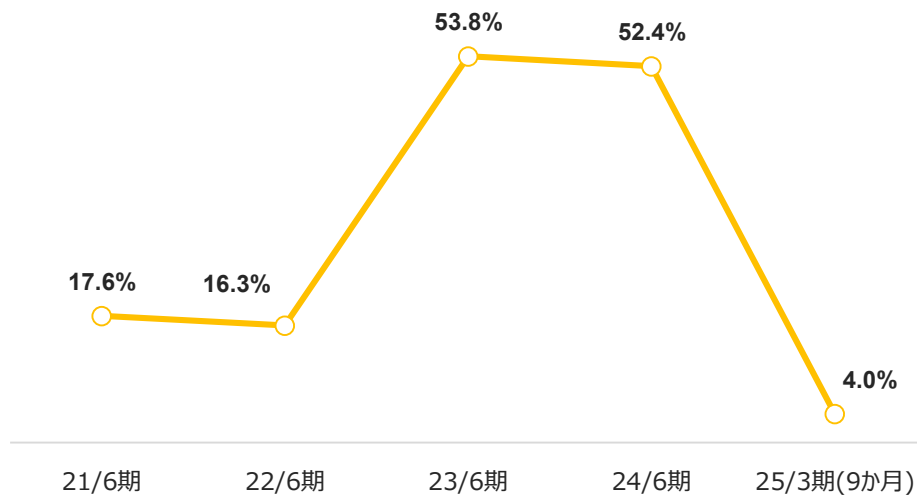


収益性

営業利益（単位：百万円）

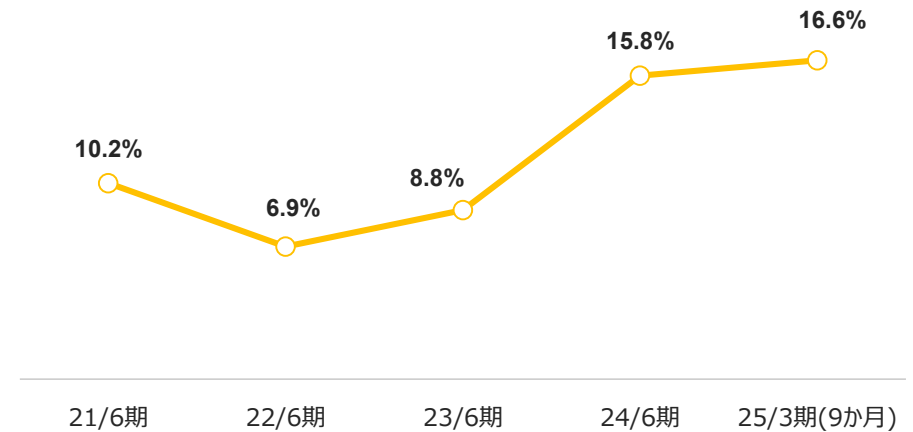


自己資本利益率（ROE）



健全性

自己資本比率



配当方針、配当金

- 安定的かつ継続的な配当に加え、内部留保の拡充と有効活用による企業競争力と株主価値の向上
- 2026年3月期の年間配当は「未定」とし、企業環境や業績動向も踏まえた上で適宜判断

(単位：円)	21/6期	22/6期	23/6期	24/6期	25/3期
中間配当金	7	8	3	3	0
期末配当金	10	10	5	5	3
年間配当金	17	18	8	8	3

※23/6期以降は、株式分割後（1:3）の1株当たり配当金

当社グループ概要 (2025年3月末日現在)



太陽光パネル製造事業



グリーンエネルギー事業



その他



Abalance株式会社

グループ経営統括・管理等

<https://www.abalance.jp/>

連結子会社39社/持分法適用関連会社6社

連結従業員数：1,713名



(100.0%)

WWB株式会社

太陽光発電システムの開発・販売・施工・
発電所の運営、建設機械・建設機器販
売・レンタル

<https://wwwwb.jp/>



(100.0%)

株式会社バロース

発電所の設計・運営・コンサルティング等

<https://www.valors.co.jp/>



(58.8%)

2025年4月末日現在

Vietnam Sunergy Joint Stock Company (BloombergBNEF25/1Q : Tier1)

太陽光関連製品（インゴット・ウエハ・パネル）
の製造・販売

<https://www.vsun-solar.com/>



(100.0%)

PV Repower株式会社

太陽光関連製品のリユース、リサイクル

<https://www.pvr.inc/>



(45.5%)

TOYO Company Limited (NASDAQ : TOYO)

太陽光関連製品（セル・パネル）の製造・販売

<https://www.toyo-solar.com/>



日本光触媒センター株式会社

(100.0%)

日本光触媒センター株式会社

光触媒酸化チタンコーティング剤及び関連製品の
製造・販売

<https://www.jphoc.jp/>



(50.0%)

バーディフュエルセルズ合同会社

水素エネルギーを活用した貯蔵システムの研究開発

<https://www.birdyfuelcells.com/>



※括弧内の%は出資/持分割合

※VSUNの出資構造：WWBが68%を出資する
FUJISOLARが、VSUN株式の87%を保有

私のミッション

プロ経営者として、短期間で経営改革を実行し、内部昇格人材にバトンを渡す

施策

- ガバナンス体制の構築に道筋をつけ、経営を正常化
- 決算遅延の元凶への抜本的対応
- 優秀な人材確保のための仕組み作り
- 設備投資のためのファイナンス
- 財務報告に係る内部統制に関する事項の不備の解消にむけた取り組み
- 次世代の経営陣を内部人材から登用、組織の正常化



ご清聴ありがとうございました



Abalance Corporation